

# 日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 24 No. 5(通巻 64号)

2013年8月8日

## ～第33回大会案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 関英昭  
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地飯田橋レインボービル5階  
一般社団法人 J C総研 協同組合研究部内 日本協同組合学会事務局  
TEL : 03-6280-7254 FAX : 03-3268-8761  
E-mail : kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp ホームページ : http://coopstudies.jp

## 日本協同組合学会 第33回大会について

### エクスカージョン 10月4日 金曜日

13時～17時 マイクロバスで下記を見学する予定で企画。  
自立支援センターまめの樹(豊島区) / 企業組合あうん(荒川区) 他

### 第1日目 10月5日 土曜日

- 大会シンポジウム 10時～17時
- 会員総会 17時10分～18時30分  
総会に先立ち、韓国協同組合学会のウ・ヨンキュン会長のスピーチを予定しています。  
会場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー2階1021教室  
東京都千代田区神田駿河台1-1
- 懇親会 18時40分～20時30分  
会場：リバティタワー23階サロン燦

### 第2日目 10月6日 日曜日

- 個別論題報告 10時～12時 会場：リバティタワー7階教室
- 特別シンポジウム 13時～16時 会場：リバティタワー7階教室

### <申込案内>

基本参加費：会員 1,500円 非会員 2,000円 (報告要旨集のみ希望者 1,800円)

懇親会参加費：参加申込ハガキでの事前申込者 一般会員 4,000円

学生会員 3,000円

エクスカージョン：参加申込ハガキでの事前申込者 4,000円 (原則、当日参加は受け付けません)

最大人員 25名程度とし、15名未満の場合は開催しない場合があります (その場合、申込み代金は返却します)

### **振込口座**

郵便振替 加入者名：日本協同組合学会 口座番号：00140-5-557520

農林中央金庫 本店(958) 日本協同組合学会 口座番号：NO. 5026910

### **連絡先**

J C総研 (日本協同組合総合研究所) 日本協同組合学会事務局

柳沢敏勝 (明治大学商学部) TEL/fax 03-3296-2286 yana@isc.meiji.ac.jp

# 10月5日(土) 大会シンポジウム プログラム

明治大学駿河台キャンパス リバティタワー2階 1021 教室

テーマ:「協同組合で拓くコミュニティの可能性」

会長挨拶	関英昭(青山学院大学)	10:00~10:05
企画担当副会長挨拶	柳沢敏勝(明治大学)	10:05~10:10
座長解題	大高研道(聖学院大学)	10:10~10:25
第1報告 自然エネルギー社会企業・宮崎県五ヶ瀬自然エネルギー		10:25~11:05
報告者: 藤本穰彦(九州大学)		
*中山間地域で小水力発電による地域再生に取り組んでいる。その中核的組織として、地域課題解決のための自然エネルギー社会的企業(自然エネルギーファンド協同組合)を構想。		
第2報告 労働者協同組合・但馬地域福祉事業所(兵庫県)		11:05~11:45
報告者: 走井洋一(東京家政大学)		
*若者サポートステーションの利用者4名が中心になって多様な仕事おこしに取り組む中で、地域住民や行政を巻き込む動きへと展開していこうとしている。		
第3報告 農事組合法人ファームおだ、共和の郷・おだ(広島県)		11:45~12:25
報告者: 小林元(JC総研)		
*東広島市河内町小田地区の自治組織「共和の郷・おだ」が、住民自治協議会として診療所併設の地域センターを開設し、ファーム・おだを発足して米粉パン工房を開設している。		
	昼食 休憩	12:25~13:25
第4報告 麦の郷(和歌山県)		13:25~14:05
報告者: 宮崎隆志(北海道大学)		
*社会福祉法人一麦会による麦の郷は、障害者の地域生活を可能にするために、様々な段階に応じた支援を自分で選択し、当たり前で地域で生活できるまちづくりをすすめている。		
第1コメント 田中夏子(都留文科大学)		14:05~14:20
第2コメント 管剛文(協同総合研究所)		14:20~14:35
第3コメント 松岡公明(JC総研)		14:35~14:50
第4コメント 藤井敦史(立教大学)		14:50~15:05
コメントへの回答		15:05~15:45
	休憩	15:45~15:55
討論		15:55~16:50
座長まとめ		16:50~16:58
閉会挨拶		16:58~17:00

## 座長の問題提起 大高研道(聖学院大学)

協同組合とコミュニティ(地域社会)の密接な関係は、レイドロー報告(e.g.第四優先分野)や1995年改正ICA原則「コミュニティへの関与」等の指摘をふまえるまでもなく明確であろう。実際に、われわれはコミュニティを基盤としたさまざまな先進的協同実践を通して、それらが身近な暮らしの改善だけでなく広く社会に浸透する問題や不安の解決に一定の役割を果たしていることを知っている。地域の暮らしの現実を基盤として生成・発展してきた協同組合

の歴史的蓄積に鑑みても、その新たな展開の可能性はコミュニティの再構築・再発見のなかに見出すことができるといっても過言ではない。

その一方で、協同組合がコミュニティについて論じるとき、往々にして「閉じられた関係性」の中で機能するコミュニティに焦点化しがちである。たとえば、事業的な成功をおさめた協同組合ほど既存組織の(事業的)枠組みからコミュニティ(やニーズ)を見るといった事態は想像に難くない。それは、協同やコミュニティ

を目的遂行の手段として位置づけてきた実践の限界を示すものともいえる。

そこで、本シンポジウムはコミュニティ形成そのものに焦点を当て、新たな協同の担い手（結び目）としての協同組合の役割と可能性について検討したい。キーワードとして考えているのは、「閉じられたコミュニティからの脱皮—コミュニティへの面的広がり」と「多様な生活当事者の参加」である。

そもそもコミュニティは矛盾的存在である。同質性を無条件の前提とすることこそが、むしろコミュニティ生成の論理解明の妨げとなる。このように考えれば、コミュニティに内在する様々な思惑や矛盾を抱え込みながら課題を共有しつつあるプロセスへのまなざしが決定的に重要となる。よって、報告および全体討論では、単に社会的に有用なサービス提供や新たな

事業展開といった、事業の目新しさに注目するのではなく、矛盾や対立的契機を直視し、それら乗り越えて既存の枠組みとは異なるどのような協同や協同の仕組みを創造しようとしているのかといった、コミュニティを生み出す論理の解明に努めたい。そのため、事業的な成果等には大きな比重をおかず、また、必ずしも協同組合が主導する実践ではない取り組みや、協同組合方式をこれから採用することを志向している実践なども取り上げたいと考えている。

単なる事例紹介ではない分析的な協同的考察を通して、人々を縛り付けるコミュニティではなく、人々を結ぶコミュニティの形成＝協同（組合）で拓くコミュニティの可能性について共有する対話的空間にできれば幸甚である。

#### ◎研究大会会場での書籍の販売について

事前申し込みをお願いします。以下の項目を下記まで e-mail でご送付下さい。

団体名（個人の場合は個人名）・会員 or 会員外・担当者名・連絡先の住所〒電話番号 e-mail  
展示や販売物の概要

申し込み締切：9月27日（金） 必着

送付先：日本協同組合学会事務局 JC 総研 TEL:03-6280-7254 FAX : 03-3268-8761

メール kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp

### 会員総会

大会シンポジウムに続き、以下のように会員総会を開催します。多くの会員の皆様のご出席を期待します。

日 時：10月5日（土）17：10～18：30

会 場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー2階 1021 教室

記念スピーチ「韓国協同組合学会の活動紹介及び日本協同組合学会への期待」

ウ・ヨンキュン（禹暎均）（韓国協同組合学会会長 尚志大学）

主な議題

- ①2012 年度事業報告及び 2013 年度事業計画案の件
- ②2012 年度決算報告及び 2013 年度予算案の件
- ③第 17 期役員選出の件
- ④その他

なお、理事に立候補したい会員は、各ブロックの理事選出委員にその旨意思表示できます。会員名簿にある各ブロックの理事選出委員については、学会事務局にお問い合わせください。

### 懇親会

日 時：10月5日（土） 18:40～20:30

会 場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー23階 サロン燦

参加費：一般会員 4,000 円 学生会員 3,000 円（ハガキでお申し込みください）

## 2013 年度日本協同組合学会 第 1 回理事会開催案内

第 33 回大会前日の 10 月 4 日（金）に、2013 年度第 1 回理事会が下記の要領で開催されます。  
理事の皆さまは、ご出席くださいますよう、ご案内いたします。

日 時：10 月 4 日（金）18：00～20：00

会 場：明治大学駿河台キャンパス研究棟会議室（詳細はメールでお知らせいたします）

主な議題

- ①2012 年度事業報告および 2013 年度事業計画
- ②2012 年度決算報告および 2013 年度予算
- ③第 17 期役員選出
- ④その他

※第 1 回理事会に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

J C 総研 協同組合研究部内

日本協同組合学会事務局 松岡公明 TEL:03-6280-7254 FAX : 03-3268-8761

E-mail:kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp

## 日本協同組合学会 第 33 回大会個別論題報告の募集

第 33 回大会第 2 日目、10 月 6 日（日）午前 10:00～12:00 に個別論題報告が行われます。

個別論題報告の**申し込み締め切りは 8 月 31 日、報告要旨原稿提出の締め切りは 9 月 7 日**までです。

締切厳守でお願いします。多数のご応募を期待しています。

個別論題申し込みおよび要旨提出先は、以下のとおりです。

〒100-6837 東京都千代田区大手町 1-3-1 J A ビル

JA 全中（全国農業協同組合中央会）経営課 杉林 剛

TEL03-6665-6149 FAX03-3217-5073 メール sugibayashi-go@zenchu-ja.or.jp

### 【申し込み要領】

下記を明記してメールで応募してください。**8 月 31 日必着**です。

- ①報告の論題（タイトル）⇒出来る限り変更のないようにしてください。
- ②会員氏名
- ③所属機関
- ④パワーポイント使用の有無（ソフトは office2010（P）の予定です）

### 【個別報告要旨原稿の書き方及び提出方法】\*厳守してください。

個別報告を申し込まれた方には、原稿のフォーマットをお送りしますので、それに従って原稿を作成して提出してください。要旨（本文）は一題につきタイトルも含め A 4 で 1 枚を厳守していただきます。和文で 1302 字（1 行 42 字で 31 行）、英文の場合は 400 語となり、図表がある場合はその分の字数が少なくなります。メールで**9 月 7 日必着**です。

## 10 月 6 日（日） 特別シンポジウム

日 時：10 月 6 日（日） 13:00～16:00

会 場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー リバティホール（1013 教室）

テーマ：「TPP をはじめとするグローバリズムと協同組合を考える」

<趣 旨>

2013 年 7 月 23 日、TPP 交渉への日本の参加に必要な米国の議会承認手続きが終了し、鶴岡公二首席交渉官が交渉の前提となる守秘契約に署名したことにより、日本は 12 か国目の TPP 交渉参加国となりました。TPP 交渉は 2010 年 3 月に第 1 回会合が開催され、この 3 年の間にすでに 18 回の協議があり、29 章の数千ページにわたる英文テキストができあがっています。日本はようやく、

その内容を読むことができるようになり、すでに決まっていることを承諾してすすめることが前提となっています。どのような内容なのかは、守秘契約により私たちに明らかにされることがありません。

6月28日に日本協同組合学会の理事会として公表した声明文「民主主義の原則を否定するTPP交渉参加に反対する」で述べたように、政府のTPP交渉参加が、日本の国益を著しく侵害する危険性が高いことを憂慮します。ISD条項の内容いかんによっては、日本の司法の及ばない恐れがあり、日本の社会制度・文化・伝統の否定をもたらす危険性もあります。地域に密着した事業に取り組む多くの協同組合活動にとっても、大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

その一方で、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、連帯といった価値を基礎におき、自立した人々による地域に根ざした協同組合という組織だからこそ、TPPによる影響に対してできることがあるはずで、国内での連携だけでなく、TPP関連国をはじめとする世界の協同組合との協同により、グローバリズムに対抗する具体的な動きを創り出すことについて考えます。

まず、韓米FTAが発効して1年以上が経過した韓国の状況と協同組合の取り組みについて、韓国協同組合学会のウ・ヨンキュン（禹暎均）会長にお話しいただき、明らかにされないTPP交渉の内容や具体的な影響について推察します。続いて、関英昭会長より、ISD条項をはじめとする法的な影響と懸念、それに対する協同組合の可能性について提起していただきます。両会長の講演のあと、パネルディスカッション形式ですすめることにし、パネリストとしてウ会長・関会長・パルシステム連合会の山本伸司理事長・アジア太平洋資料センターの内田聖子事務局長・東京農工大学の成田拓未助教に登壇いただき、山本さんには日本の地域社会が受ける影響及び協同組合による民衆型の国際連帯と協力の可能性について、内田さんにはTPP交渉の現地取材や関連国のNPO等との情報交換からみえている課題及び国際連携の可能性について、成田さんからは、アジアでの影響力が大きい中国の状況や連携の可能性について発言いただきます。

パネリストどうしの意見交換および会場からの発言もとり入れながら、最終的には、1%のグローバル企業による支配に対して、協同組合間協同で対抗できること、協同組合として何ができるか、何をしなければならないかを皆さんと共に議論します。

開催あいさつ	13:00~13:05
趣旨説明	13:05~13:10
報告1「韓米FTAによる影響と協同組合の対抗」(仮題)	13:10~13:40
ウ・ヨンキュン(禹暎均)(韓国協同組合学会会長 尚志大学)	
質疑応答	13:40~13:50
報告2「TPP参加が日本に及ぼす影響と協同組合連携の必要性」(仮題)	13:50~14:20
関英昭(日本協同組合学会会長 青山学院大学)	
質疑応答	14:20~14:30
休憩	14:30~14:40
パネルディスカッション	14:40~15:50
パネリスト	
ウ・ヨンキュン(禹暎均)(尚志大学)	
関英昭(青山学院大学)	
山本伸司(パルシステム連合会)	
内田聖子(アジア太平洋資料センター)	
成田拓未(東京農工大学)	
コーディネーター	
藤木千草(ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン)	
まとめ	15:50~15:55
閉会挨拶	15:55~16:00

## ■会場案内

### 明治大学 駿河台キャンパス



- ・JR 中央線・総武線、東京メトロ丸の内線／御茶ノ水駅 下車徒歩 3 分
- ・東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩 5 分
- ・都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅 下車徒歩 5 分

## 10月4日(金) エクスカーション

日時：10月4日(金) 13時～17時

### 企画趣旨

都内の協同組合として取り組んでいる社会貢献事業の実践を見学します。詳細は未定ですが都内の最寄駅からマイクロバスで出発し、御茶ノ水駅付近で解散の予定です。

見学先は当学会の学会誌の発送をお願いしている「自立支援センターまめの樹」(豊島区)、ホームレスの方々が自立するためのリサイクルショップを運営している「企業組合あうん」(荒川区)、労働者協同組合によるみつばちプロジェクト(品川区)などです。集合場所等の詳細は、お申込みいただいた皆さまにご連絡いたします。最小人員 15 名、最大 25 名程度の予定です。

参加費 4000 円

## ◎名簿に記載した会則の訂正のお願い◎

先日、皆さまにお届けした会員名簿に記載した会則は、平成 24 年(2012 年)9 月 29 日の総会で改定する以前のものです。お詫びして訂正いたします。

改正前：第 8 条 本会に会長、副会長を 3 名以内、理事 36 名、及び監事 2 名の役員を置く。

改正後：第 8 条 本会に会長、副会長 3 名以内、理事 36 名以内及び監事 2 名の役員を置く。  
その他の訂正項目については、同封した正誤表をご覧ください。申し訳ございませんでした。